

競技上の注意

第37回 道新杯北海道中学選抜卓球大会
兼 全国中学選抜卓球大会予選会
審判長 北里 嘉則

現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

1. ボール、ラバー、ラケット、服装について

- (1) 使用球は「JTTA 公認プラスチック球：40mm ホワイト」とする。
- (2) ラバーは、ラケット本体の外周いっぱいまで、しかもはみ出さないように覆うものとする。
- (3) 外国製のラケットで、JTTA マークの無いものを使用する場合は、競技開始前に審判長の許可を得なければならない。
- (4) ゲーム間の休憩中や緊急中断中、ラケットはテーブルの上に置いておくこと。
- (5) ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼る事は出来ない。
- (6) 団体戦に出場するチームの全競技者は、靴及び靴下を除いて、同じ服装で競技しなければならない。
- (7) 競技用シャツは、対戦する競技者または組の競技者が互いに区別が出来る程度に異なった特徴を持つものでなければならない。

2. サービスについて

- (1) オープンハンドで16センチ以上ほぼ垂直に投げ上げ、落下する途中を打球すること。
- (2) サービスを開始してからボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレイングサーフェスよりも高い位置で、サーバー側のエンドラインの後方になければならない。
- (3) サーバーの体の一部や着用している物で、ボールをレシーバーから隠してはならない。また、審判が正規のサービスであるかを確認できるよう行うことは、競技者の責任である。

3. 促進ルールについて

- (1) ゲーム開始後10分経過しても終了しない場合は、促進ルールを適用する。ただし、双方のポイント合計が18点以上(9-9、10-8)の場合は適用されない。
- (2) 促進ルールが適用になった場合は、その試合が終了するまで続行される。

4. 競技者・監督・アドバイザーのバッドマナーについて

- (1) 相手競技者に対し不当な影響を与えることや、ゲームをおとしめる様な癖や態度などは慎まなければならない。また、観客に不快感を与える態度なども慎まなければならない。
- (2) 競技者はポイントが決定した後、速やかに次の体勢をとること。みだりに時間を費やすことはスロープレイであり、注意の対象となる。

5. アドバイスについて

- (1) アドバイスは、ゲーム間の休憩時間と緊急中断時のみで、競技中に行った場合は、警告となる。繰り返し行った場合は、退場もあり得る。

6. その他

- (1) 本大会では、準決勝よりタイムアウト制(1分以内)を適用する。タイムアウト制は要求した側の権利であるので、要求した側が戻った場合は相手も直ちに戻らなければならない。要求の優先順位は、①監督②選手であるが、複数台使用時のみアドバイザーにも要求の権利を与えるものとする。この時要求の優先順位は、①アドバイザー②選手となる。
- (2) 団体戦の抗議権は監督にのみ与えられる。(アドバイザーに抗議権はない。)
- (3) 監督・アドバイザーは、役員登録を済ませ役員章を身に付けなければならない。